

ザイマセヌカ……ゴザイマセヌケレバ、是ヨリ重要鑛物増産法案及日本產金振興株式會社法案、兩法案ノ討論ニ移リマス、全部ヲ一括シテ議題ニ供シマス

○子爵井上匡四郎君 私ハ勿論兩案ニ賛成
スル者ニアリマス、平戰時ヲ通ジテ資源ノ
國家ニ必要ナルコトハ申ス迄モナイノデア
リマスガ、殊ニ礦物資源ハ各國トモ其ノ關
心ヲ深クスル所デアル、是ハ礦物資源ト云
フモノガ他ノ資源ト性質ヲ異ニシテ、再生
的、「レプロダクティーヴ」デナイト云フコ
トガ其ノ原因デアルノニアリマス、日本帝國ハ
其ノ領土ガ列強ト比較致シマシテ、頗ル狭ク
アリマスガ、其ノ礦物資源ハ比較的ニ面積ノ
割合ニハ惠マレテ居ルト思ハレルノニアリ

マス、然ルニ其ノ鑛區權ノ中ノ相當ナルモノ
ガ今日活動セラレテ居ナイト云フコトハ、
此ノ非常時ニ於テ甚ダ遺憾ノコトデアル、
重要鑛物増產法案ハ此ノ國家ノ缺陷ヲ是正
スルニ與ツテ大イニ力ガアルモノト考ヘマ
ス、又金ニ對シマシテハ對外決濟力ヲ豐富
ナラシムル爲ニハ、此ノ場合帝國トシテ最
モ力ヲ茲ニ致サナケレバナラナイ、幸ニ朝
鮮ハ世界中ニ於テモ稀ニ見ル金產地デアル
ノデアリマシテ、仍テ之ヲ適當ナ施設ニ依ツ
テ金鑛業ヲ助長致シマシタナラバ、相當ノ

結果ヲ必ず擧ゲ得ルト思フ、私ハ此ノ産金
振興株式會社ガ創立セラレ、其ノ使命ヲ完
全ニ成就セラレルコトヲ切ニ希望致シマス、
上述ノ意味ヲ以テ此ノ兩案ニ贊成致シマス
○松本勝太郎君 挙ニ希望ヲ附シマシテ本
案全體ニ贊意ヲ表シタイト思フノデアリマ
ス、產金振興株式法案ハ政府ノ指導監督ノ
宜シキヲ得レバ、金ノ増産ヲ圖ル上ニ相當
效果のモノト思フノデアリマス、併シナ
ガラ此ノ法案ノミヲ以テシテハ未開發迄ヲ
開發スルニハ十分ノ效果ヲ收ムルニ足ラズ
ト信ズル者デアリマス、政府ハ宜シク應急
ノ策ヲ講ゼラレ、以テ一層増産ニ努メラレ
ムコトヲ希望致シマシテ、全部ニ贊成ヲ致
シマス

○委員長（伯爵副島道正君）別ニ御意見ハ
ゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌナラバ、
決ヲ採ルコトニ致シマス、兩案ニ御賛成ノ
方ノ舉手ヲ願ヒマス

〔舉手者全員〕

○委員長（伯爵副島道正君）全會一致ニア
リマス、續イテ石油資源開發法案ニ移リマ
ス、御質問ヲ……

○出淵勝次君 本案ノ第十條ニ關シマシテ
衆議院デ屢々質問ガ起リマシテ、之ニ對シ
テ政府當局カラ御答辯ガアツクノデアリマ

スガ、私能ク研究シテ見マスルト、ドウモ
ハッキリシテ居ラヌ點モアルヤウデアリマ
ス、ソコデ一ツ順序ヲ立テテ二ツ三ツ伺ッテ
見タイト思ヒマス、ドウゾ政府委員ニ於カ
レマシテ私ノ趣旨ヲ御了解下サイマシテ、
簡單明瞭ニ一ツ御答辯ヲ得タイノデアリマ
ス、第一點ハ本案ハ石油資源ノ開發ヲ統制
シテ、必要ニ應ジ鑛業權者ニ對シテ助成金
ヲ與ヘテ試掘ヲ行ハセル、又ハ補助金ヲ與
ヘテ採油ノ制限又ハ増加ヲ行ハシムルコト
ヲ目的トシテ居リマスル關係上、第十條ノ
業務報告検査又ハ處分ニ關スル規定ト云フ
モノハ、專ラ右助成金又ハ補助金ヲ受クル
者ニ對シ適用スル規定ト認メラレルヤウデ
アリマス、法文ニ於キマシテハ、精神ニ於

テ他ノ類似ノ法規ニ從ツテ、一般鑛業權者ニ
對シテ廣汎ナ監督權ヲ收メテ居ラル、ヤウ
デアリマスガ、實際ト致シマシテハ、助成
金又ハ補助金ヲ受ケザル者ニ對シマシテハ、
一々嚴格ニ之ヲ適用スル御趣旨デハナイヤ
ウニ解釋セラレルノデアリマス、此ノ點ニ
付キマシテ政府ノ御趣旨ヲハッキリト伺ヒ
タイト存ジマス

サ一マス、ト申シマスノハ、此ノ石油ノ試掘、採掘ノ現状ヲ見マスト云フト、現状ノ儘ニ放任致シマシテハ、試掘、採掘ガ計畫的ニ促進セラレナイ、又頗ル合理的デナイト云フ風ニ見テ居ルノデアリマシテ、例ヘテ申シマスルナラバ、政府デ之ヲ試掘シテ見タイ、相當有望ナ所デアルト思ヒマシテモ、鑛區權者ノ同意ガナケレバ出來ナイノデアリマス、斯ウ云モノヲ積極的ニ開發促進シテ行キマスルト共ニ、採掘ヲ致シテ居リマスル現狀ガ必ズシモ科學的又ハ合理的デナイモノモ往々アルノデアリマス、現狀ノ儘ニ放任シテ置キマスルト、價値ノ多イモノヲ有效ニ出來ルダケ澤山汲取ルト云フ上ニ於テ頗ル遺憾ノ點ガアリマスノデ、

石油鑛業全體ニ對シテ茲ニ統制ヲシテ行クト云フノガ此ノ法律ノ趣旨デアリマスル爲ニ、從ツテ其ノ適用ヲ獎勵金ヲ受ケテ居リマスルモノニ限ル譯ニ行カナイノデゴザイマス、立法ノ趣旨ヲ附加ヘマシテ、御答ヲ致シテ置キマス

○出淵勝次君　此ノ法案ノ理由書ノ中ニモハツキリト書イテ居ルコトハ、石油試掘助成制度ノ擴大強化ト云フコトニナッテ居ツテ、現ニ助成金ヲヤツテ居ラヌモノ迄モ、一々ドウモ面倒ナ手續ヲシテ調べ上ゲルト云フコ

トハ、ドウモ主タル目的デモナイヤウニ思フノデスガ、ソコニ實際ノ取扱トシテハ、自ラ私ハ助成金ヲ受クルモノト、受ケザルモノトノ間ニ當然差異ガアルベキモノト思フノデアリマスガ、今ノ御詰ニ依ルト、唯十條ト云フモノガアルカラト云フノデ、唯法律上ノ御解釋トシテ、餘リ廣イ御説明ノヤウニ思フノデスガ、私ハ伺ヒタイコトハ、助成金モ何ニモ貰ハヌモノ迄モ、一々業務ノ報告ヲ微シテ検査ヲスル、又ハ處分ヲスルト云フヤウナコトヲシテ居ルト、徒ラニ仕事バカリ殖エテ、本當ノ試掘ノ方ヲ進メルト云フヤウナコトニハ手ガ足リナクナルト云フコトモアリ、何トカ一ツハッキリト試掘ヲセシメル、助成金ヲ與ヘルト云フコトニ主力ヲ置カレルノガ、法律全體カラ見テ本當デハナイカト思フノデスガ、ソコノ何ト申シマスカ、寧ロ法律ノ執行ニ關スル御心持ヲ伺フノデ、或ハ此ノ機會ニ申上ゲルコトハ無理カモ知レヌガ、實際行政ノ局ニ當ラル、人ハ、ソコニ必ズ多少ノ手心ト云フモノガアルノハ、此ノ法律ノ解釋カラ來ル當然ノ結果デハナイカト思フ、其ノ點更ニ一ツ簡單ニ御詰ラ願ヒトイ

○政府委員(竹内可吉君) 先程抽象的ニ申上ゲマシタケレドモ、此ノ法律ノ例ヘバ第

七條ノ規定ニ依リマシテ、鑛區ガ隣接致シテ居リマスル場合ニ、濫掘、所謂競爭掘ノ弊ニ流レ易イノヲ調整シテ參リマスト云フノヤウナコトナドハ、獎勵金ヲ受ケテ居リマセヌモノニ對シマシテモ、是ハ是非トモ適用シナケレバナラヌ規定ナノデゴザイマス、ソレカラ又軍事上ノ必要ニ依リマシテ、採油制度、或ハ増掘ト云フヤウナモノヲ命令ヲスルコトニナツテ居リマスガ、石油鑛業者ニシテ製油業ヲ兼ネテ居ル者ガ澤山ウナ命令ヲシマス爲ニハ、當時鑛業權者ノ稼行狀況ト云フモノヲ見テ行クコトガ必要ダト思フノデアリマス、ソレカラ又他ノ條文ニ於キマシテ、有望ナ所デ試掘シナイト云フモノニ對シテ、試掘命令ヲシ得ルヤウナ規定ヲ置イテ居リマス、之ヲ命令致シマス前提トシマシテモ、其ノ稼行狀況ヲ明カニシテ置クト云フコトガ、是ハドウシテモ必要ダト思フノデアリマスガ、併シナガラ一般的ノ問題ト致シマシテ、決シテ此ノ法律ハ取締ヲスルカ、監督ヲスルカ云フコトガ主デハナイノデアリマシテ、前段申上ゲマシタ通り、計畫的ニ、合理的ニ試掘、採掘ヲヤラセルト云フ趣旨デアリマスノデ、此ノ十條以下ノ取締又ハ罰則等ハ、是ハ國民ノ協力ヲモット促ス爲ノ規定デゴザイマス

○出淵勝次君 モウ一ツ伺ヒマスガ、此ノ人ガ、外ノ仕事ヲヤッテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、是ガ適用サレルコトハナイノデゴザイマス

○政府委員(竹内可吉君) 此ノ十條ノ規定ハ石油鑛業者ニ對シテヤルコトニナツテ居リマスノデ、製油業ヲヤッテ居リマスル其ノ仕事ハ石油鑛業者トシテヤルノデナクテ、石油精製業者トシテ之ヲヤルコトダグト思フノデゴザイマス、從ツテ石油鑛業者ガ、同一大體是ハ運用ノ問題ニ關聯シタ御質問ト思ヒマスガ、前段申上ゲマシタ通り、必要ナ最少限度ニ止メル方針デアリマスノデ、自然其ノ結果ハ只今御述ニナリマシタヤウナコトニナルモノト存ジマス

○出淵勝次君 私ノ此ノ法案ニ對シテ御尋スルコトハ之ヲ以テ終リマシタ

○子爵立花種忠君 今出淵委員カラノ御尋ニ對シテ長官カラ御答ガアリマシテ、誠ニ結構ナコトト思ヒマスガ、詰リ十條以下ノ

業者ノ迷惑ヲモ顧ミナイデ、不必要ナ行政ヲヤッテ行クト云フヤウナコトハ、是ハモウ絶対ニ避ケナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○出淵勝次君 今ノ政府委員ノ最後ノ御答辯ニ依リマシテ、私ハ能ク了解致シマシタ、モウ一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、石油鑛業者ニシテ製油業ヲ兼ネテ居ル者ガ澤山アルヤウデアリマスガ、試掘ニ對シマシテ助成金又ハ補償金等ヲ受ケマスル時ニハ、此ノ十條ノ規定ナルモノハ石油鑛業以外ノ製油業ト云フヤウナモノニハ勿論適用シナイ、會社ハ同ジデアッテモ適用シナイモノデアル、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

云フモノハアルノデヤナイカト云フヤウニ考ヘテ、其ノ他ノ地方ノ方ハ大體ニ於テマア手雲フモノハ、主ニ助成金ヲ受ケテ居ル地方ノ事業ニ對シテノミ適用セラル、ノデアッテ、其ノ他ノ地方ノ方ハ大體ニ於テマア手心ガ加ハルノデヤナイカト云フヤウニ考ヘマスガ、ソレ程迄ニ廣ク此ノ十條ヲ分解シテ考ヘルコトハ、或ハ不適當カトモ思フノデアリマス、以上ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(竹内可吉君) 十條ハ大體是ハ運用ノ問題ニ關聯シタ御質問ト思ヒマスガ、前段申上ゲマシタ通り、必要ナ最少限度ニ止メル方針デアリマスノデ、自然其ノ結果ハ只今御述ニナリマシタヤウナコトニナルモノト存ジマス

○出淵勝次君 私ノ此ノ法案ニ對シテ御尋スルコトハ之ヲ以テ終リマシタ

○子爵立花種忠君 今出淵委員カラノ御尋ニ對シテ長官カラ御答ガアリマシテ、誠ニ結構ナコトト思ヒマスガ、詰リ十條以下ノ

取締云々ト云フ問題デアリマス、斯ウ云フモノハ往々ニシテ上ノ方ノ御方ハサウ云フ風ニ總テヲ解釋シ、又ソレデ進ンデ行カレテ居ルノデアリマスガ、單リ斯ウ云フモノノミナラズ、總テノ法律其ノ他ニ付テ、ドウモ下ノ者ハ之ヲ曲解シテ、其ノ業者ニハ何カ彼カ辛ク當リ、此ノ條文以下ヲ適用シテ何カ苦情ヲ述ベルト云フノガ、日本ノ一般ノ官吏或ハ公吏ノヨクヤルコトダト思フノデアリマス、ソコデ、長官以下上層部ノ方ハヨクソレヲ御承知デアラウケレドモ、若シモ之ヲ濫用サレタ場合ニ於テハ業者方非常ニ迷惑ヲスルノデヤナイカト思ヒマス、ソコ等ニ付テハ、何カ施行令トカ外ノコトデ、サウ云フコトハ細カク御規定ニナルノデアリマスカ、甚ダ老婆心ナガラ一應伺ッテ置キマス

ノ所管ニ屬シテ居リマスル事柄ニ付キマシテハ、明ラカニ其ノ趣旨ヲ當業者ノ諸君ニモ了解シテモラツテヤツテ居ルノデゴザイマス、只今ノ御尋ノ點ハ、全ク是ハ運用ノ點デゴザイマシテ、規則其ノ他デドウ云フヤウナコトヲ書キマシテモ、其ノ運用スル者ノ心持ガ、只今御述ニナリマシタヤウナ趣旨ニ合ヒマセスト、兎角只今仰セノヤウナ弊ニ陥リ易イト考ヘルノデアリマス、是等多數ノ者ガ仕事ヲ致シテ居リマス官廳或ハ局ト云フヤウナ所ノ責任者ガ、注意ヲシテ戴カナケレバナラヌ問題ト實ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、省令ニ、第十條ニ依リマシテ規定ヲシマス事項モソレハゴザイマスガ、只今申上ガタヤウナ趣旨デ、必要ナル最小限度ニ止メル積リデゴザイマス、規則ニ付テノ御尋ハソレダケデゴザイマスケレドモ、御質問ノ御趣旨ハ全ク御尤ダト考ヘテ居リマス、サウ云フヤウナ積リデ運用シテ行キタイト考ヘテ居リマス。

○子爵立花種忠君 私ハ別ニマダ質疑ヲ致シタイノデゴザイマスルガ、今出淵委員カラノ御質疑デチョット思出シマシタノデ、此ノ質疑ヲ致シタノデ、ソレハ滿洲ノ別ノ少シ問題デゴザイマスルガ、滿洲ノ或問題デ、此ノ度ノ事變ニ依ツテ朝鮮ノ同胞ガ非常ニ

我ガ國ニ感謝シテ居ルノデアリマスルガ、
遺憾ナガラ其ノ下ノ方ノ屬僚ト云ヒマスト
スルト云フカ、穿キ違ヘルト申シマスル
カト云フヤウナコトヲシタ爲ニ、折角滿洲
ノ或地方ニ居ル半島民ガ感謝シテ居ッタノ
ガ、又日本ヲ寧ロ恨ムト云フヤウナ傾向ニ
アルコトヲ、非常ニ憂ヘテ居ッタコトヲ聞イ
テ居リマス、サウ云フコトガアリマシタノ
デ、若シモサウ云フコトニナリマシテハイ
カヌト思ヒマシテ實ハ伺ツタノデアリマス、
私ノ質疑ハ又別ノ時ニ致シマス

シテ其處ヲ試掘セシムルト云フヤウナ地域ノ御見込ガアルノデアリマスカ、其ノ邊ノ所ヲ承リタイ

○政府委員(竹内可吉君) 此ノ八條ノ規定ヲ適用スルコトニ依ヅテ試掘ヲ促進シテ行クト云フコトハ、是ハ寧ロ例外ト心得テ居リマス、多クノ場合ハ當業者ノ詰リ鑛區權者ノ申請ニ依リマシテ之ヲ審査致シマシテ、適當デアル場合ニ助成金ヲ交付シテ試掘ノ促進ヲ圖ルト云フコトニ致ス管デアリマス、チヨット附加ヘテ申上ゲタ方ガ宜イト思ヒマスガ、從來モ地質調査ノ結果ニ基キマシテ相當有望ナル地方ヲ告示致シマシテ、其ノ告示セラレマシタ地域ノ中カラ之ヲ試掘ノシタイト云フ者ガ、助成金ノ申請ヲスルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、大體今後モサウ云フヤウナ方針デ進ンデ行キタ伊ト思ツテ居リマス、唯往々ニシテサウ云フ告示等ニ氣ノ付カナイ者モゴザイマセウシ、又氣ガ付キマシテモ、積極的ニ助成ノ申請ヲスルト云フヤウナコトヲ何ト申シマスカ、澁ル、マア謂ハ、億劫ガルト申シマスカ、ト云フヤウナ者モ實ハナイデハナイト思ヒマスノデ、此ノ地方ガ有望ト思ヒマシスカ、トナラバ、此ノ八條ノ命令ニ行ク前ニ是ハ行政上ノ運用ニ依リマシテ、何ト申シマス

カ斡旋ト申シマスカ、能ク諒解ヲセシメマ

シテ交付申請書ヲ向フカラ出サセル、斯ウ

云フヤウナコトガ手續トシテ、ソコヘ出テ

来ルダラウト思フノデアリマス

○子爵井上匡四郎君 只今長官カラ御話ノ

地質調査ニ依ッテ有望區域ヲ公示スル、其ノ

石油ニ對スル地質調査トシテ、地質調査上

ノ仕事デアリマスカラ鑛山局ノ仕事デアリ

マスガ、其ノ豫算ハドノ位アリマスカ

○政府委員(竹内可吉君) 此ノ地質調査

ハ、御承知ノ通リ古クカラ實ハヤッテ居ル

ノデアリマス、今迄ノ地質ノ調査ガマア地

表ノ調査ガ主デアリマシタノヲ、十三年度

カラモウ少シモット精細ニ、所謂我々ガ之

ヲ油田地質精査ト申シテ居リマスガ、サウ

云フコトヲ必要ト認メマシテ、特ニ十七萬

七千圓ヲ十二年度カラ計上サレマシテ、或

ノ仕事ヲモウ少シ急ギマシテ、同時ニ又此

ノ科學的ナ探鑛法等モソコニ利用致シマシ

テ、モット能ク精細ニ調査ヲ促進シテ行キ

タイト云フ意味カラ昭和十三年度ニ於キマ

シテハ、十二年度ノ十七萬七千圓ニ對シテ

更ニ十二萬圓ヲ増額スルコトニナッテ居リ

マス、約三十萬圓バカリノ經費ヲ今度ハ要

求致シテ居ル次第ゴザイマス

○委員長(伯爵副島道正君) 他ニ御質問ハ

ゴザイマセヌカ

○大西虎之介君 此ノ條文ニ付テチヨット

御伺ヒ致シタイト存ジマスガ、第一條ニ「政

府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ

於テ石油鑛業者ニ對シ試掘助成金ヲ交付ス

ルコトヲ得」トアリマシテ、次ニ第五條ニ「詐

偽ノ行為ヲ以テ第二條ノ試掘助成金ノ交付

ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ヲ返還セ

シム」又次ニ第六條ニ「第三條ノ規定ニ依

ル納付金及前條ノ規定ニ依ル返還金ハ國稅

滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノト

ス」トスウアリマシテ、私ノドウカト思ヒ

マスルノハ、此ノ納付金ト返還金トヲ同列

ニ置キマシテ國稅滯納處分ノ例ニ依ッテ之

ヲ徵收シ、而モ其ノ先取特權ノ順位ガ國稅

ヲ擔保トシマシテ抵當權ヲ設定スル、ソレ

ノミナラズ政府ガ助成金ヲ出シテオヤリニ

ナルト云フコトガ、此ノ金ヲ貸ス場合ニ非

常ニ重要ナ「ファクター」トナッテ居ルト

ノデアリマスガ、是が減多ニナイト思ヒマス

ガ、偶、詐偽ノ行為ガアリマシテ、此ノ與ヘ

シテ、此ノ試掘ヲ致シマスルノニ相當ノ資

金ヲ要シマスルシ、ソレニハ自己ノ資金ヲ

投入致シマセウシ、又金融機關其ノ他カラ

シテ、又政府ガ之ニ助成金ヲ御出シニナル

ト云フコトモ必要ナノデアリマスガ、政

府ガ助成金ヲ御出シニナリマスル場合ニ

ハ、商工省ニ於テ十分御調査ニナリマシ

テ、其ノ採掘ヲシマスル區域ニ付キマシ

テモ、亦採掘スル人ニ付キマシテモ、十分

ニ嚴格ニ御調査ニナッテ之ニ助成金ヲ御

與ヘニナルト存ジマスガ、金融機關ハ、第

三者ガ當該鑛業權者ニ對シマシテ資金ヲ融

通致シマスル場合ニハ、或ハ株式ヲ擔保ト

シマシテ質權ヲ設定スルトカ、又不動產

ヲ擔保トシマシテ抵當權ヲ設定スル、ソレ

ニ置キマシテ國稅滯納處分ノ例ニ依ッテ之

ヲ徵收シ、而モ其ノ先取特權ノ順位ガ國稅

ヲ擔保トシマシテ抵當權ヲ設定スルト云フヤ

ウナ規定、或ハ其ノ返還金ノ取立ノ順位ト

云フヤウナコトニ付キマシテハ、從來此ノ

種ノ立法例ガアリマスノデ、實ハ其ノ先例

ニ是ハ據タノデアリマスガ、只今ノ御趣

意ノ如ク政府ニ於キマシテモ十分調査ヲ致

シマシテ、斯ウ云フヤウナ規定ノ適用ヲ見

ルト云フヤウナコトハ、實ハ是ハ私ノ經驗

デハ、從來ノ法律ノ運用ノ上ニ於テ、一度

モ實ハ無イノデアリマス、全ク運用デアリ

マシテ、石油ノ試掘、採掘ニ付テ金融業者

タ助成金ヲ返還セシメルト云フ場合ニ、若

シ第三者ガ既ニ株式ヲ擔保トシテ質權ヲ設

定シテ居ル、或ハ不動產ヲ擔保トシテ抵當

權ヲ設定シテ居リマス場合ニ、是ヨリ先ニ

返還金ヲ取返スト云フコトニナリマシタナ

ラバ、金融業者或ハ第三者ノ蒙ル損害モ莫

大デアリマセウシ、又其ノ爲ニ今後資金ヲ

要スル石油業ト云フモノニ對シテ、資金ヲ

融通スルコトガ困難ニナル其ノ結果トシマ

シテ、此ノ法案ノ中ニ一貫シテ流レテ居リ

マス試掘ヲ獎勵シ、之ニ從ツテ石油ノ增産ト

シテ、此ノ法案ノ中ニ一貫シテ流レテ居リ

ナイカト考ヘルノデアリマスルガ、之ニ對

シマシテ御所見ヲ伺ヒタイト存ジマス

○政府委員(竹内可吉君) 助成金ヲ交付致

シマシテ質權ヲ設定スルトカ、又不動產

ヲ擔保トシマシテ抵當權ヲ設定スルト云フヤ

ウナ規定、或ハ其ノ返還金ノ取立ノ順位ト

云フヤウナコトニ付キマシテハ、從來此ノ

種ノ立法例ガアリマスノデ、實ハ其ノ先例

ニ是ハ據タノデアリマスガ、只今ノ御趣

意ノ如ク政府ニ於キマシテモ十分調査ヲ致

シマシテ、斯ウ云フヤウナ規定ノ適用ヲ見

ルト云フヤウナコトハ、實ハ是ハ私ノ經驗

デハ、從來ノ法律ノ運用ノ上ニ於テ、一度

モ實ハ無イノデアリマス、全ク運用デアリ

マシテ、石油ノ試掘、採掘ニ付テ金融業者

